

INDEN

「受け継ぐ手わざ、異国の薫り」

令和8年
1月2日 [金] ~ 2月23日 [月]

休館日 毎週火曜日 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

主催 山梨県立博物館 協力 印傳博物館、株式会社 印傳屋上原勇七、有限会社印傳の山本

観覧料 一般520(420)円 大学生220(170)円 常設展観覧料でご覧いただけます。

●65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)、小・中・高・特別支援学校等の児童・生徒は無料です。

●()内は20名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引料金です。

●無料・割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。

●購入日から何度でも観覧できる年間パスポート(一般2,100円、大学生1,050円)もございます。



山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

INDEN

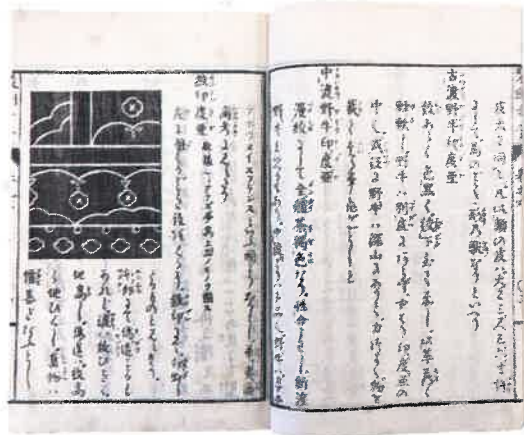
～受け継ぐ手わざ、異国の薫り～

山梨のお土産や名産品のひとつに、^{こうしゅういんでん}甲州印伝があります。鹿革に漆や燻した煙などで模様をつけた革製品で、財布やバッグなどの小物がつくられ、国の伝統的工芸品や山梨県の郷土伝統工芸品にも指定されています。

一説には、「印伝」の意味は「インド伝来」であるとされています。また、奈良の東大寺の宝物には、鹿革に燻の技法で模様をほどこした葡萄唐草文の革包みが伝来しています。美しい装飾革は、どのような歴史をたどって山梨の名産品になっていったのでしょうか。かつてつくられていたさまざまな技法による印伝や装飾革の小物と甲州印伝にまつわる歴史資料から、その道のりをたどってみましょう。私たちの生活をいろどる美しい装飾革が、長く受け継がれていくことを願って。

さまざまな装飾革と印伝

鹿革を燻すなどして模様をつける技法は、古くは奈良時代に行われていました。また、江戸時代には美しい文様をほどこした輸入革を真似るなどして、革を色づけ装飾するさまざまな技法が発展していきました。遠い異国の記憶を秘め、庶民のあこがれの品物でもあった印伝や装飾革の製品を江戸時代から明治時代のものを中心にご紹介します。



『装剣奇賞』(個人蔵)



「松皮印伝」の食入(印傳博物館蔵)

金唐革の食入(個人蔵)



甲州印伝の誕生と拡がり～近代化とともに～

明治時代の殖産興業政策を背景に、山梨の印伝は「甲州印伝」として名乗りをあげ、山梨を代表する産業としての地位の確立に踏み出しました。万国博覧会や内国勸業博覧会などにも出品し、その成果を広告にも掲載してPRしていきます。広告資料などを中心に、甲州印伝が山梨を代表する工芸品となっていく過程をたどります。

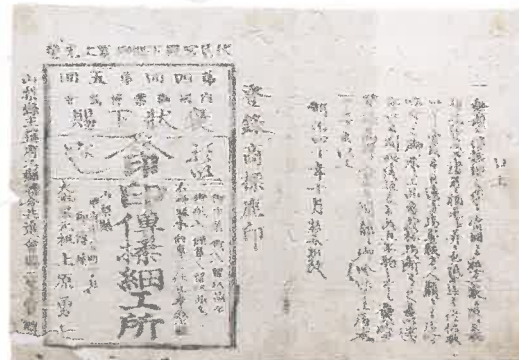


受け継ぐということ

甲州印伝は、オリジナルブランドの発表や、キャラクターやアーティスト作品、イベントとのコラボレーションなど、現代になじむ品物を生み出し続けています。また、印伝が多くの人のくらしとともにあるよう、門外不出・一子相伝だった製法を分業体制に変える決断をした企業もあります。近年の製品や作品を通じて、洋と和、伝統と革新、柔軟と厳格が併存し、時に融合している印伝の、尽きることのない魅力をご紹介します。



第4回パリ万国博覧会出品時のメダル
(印傳博物館蔵)



明治時代の広告(山梨県立博物館蔵)

関連イベント

ギャラリートーク

1月18日(日)、2月15日(日)
いずれも14:00～(1時間程度)
※事前申込不要、常設展観覧券が必要

網膜投影視覚支援機器RETISSA ON HAND体験会～小さな印伝がはっきり見える!～

2月7日(土)10:30～12:00 ※事前申込不要、常設展観覧券が必要
協力:株式会社QDレーザ 視覚情報デバイス事業部、特定非営利活動法人つなぐ
※手持ち型の視覚支援装置を使用して展示を見ることができる体験会です。
※機器の数に限り(3台)があるため、順番をお待ちいただくことがあります。

あそぼう! まなぼう! 寺子屋ひろば

「印伝調模様の小物入れを作ろう」
1月24日(土)11:00～(30分程度)
※事前申込不要・先着順(15名程度)、
常設展観覧券が必要

かいじあむ子ども工房

「鹿革のはぎれとまゆ玉をつかってひなかざりを作ろう」
2月14日(土)10:30～、13:30～(1時間程度)
定員:各回4組
※事前申込制、小学4年生以上対象、
受付開始1月14日(水)10:00～
電話055-261-2631(山梨県立博物館)
協力:有限会社印傳の山本

※イベントは変更・中止になる場合があります。



〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
Tel:055-261-2631 Fax:055-261-2632
E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp
URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp

アクセス

- ◆中央自動車道一宮御坂ICから車で約8分
笛吹八代スマートICから車で約12分
- ◆JR石和温泉駅南口からバスで約10分
富士急バス「富士山駅」行き
- ◆JR甲府駅南口からバスで約30分
富士急バス 5番のりば「富士山駅」行き
(※一部は北口2番のりば)
- ◆富士急行・河口湖駅からバスで約40分
富士急バス 5番線「甲府駅」行き
- ◆富士急行・富士山駅からバスで約50分
富士急バス 4番線「甲府駅」行き



山梨県立博物館
ホームページ



山梨県立博物館
公式X(旧Twitter) kaiseum_ypm

